

文 献 解 題

第4章 レバノン

第4章 レバノン

IV-1. 文献目録・人名録

レバノン女性に関する文献 DB としては、NCLW がウェブサイトで開催している「レバノン女性電子図書館 (E-Library for Lebanese Women)」(<http://e-portal.nclw.org.lb/Library.aspx?lang=en-us>)があげられる。2007 年の訪問時点では、まだ作成中であったが、レバノン女性に関する文献情報が、図書、新聞記事、学位論文まで網羅的に登録されており、またここに収録された学位論文以外の文献のほぼ全てを NCLW 図書室で閲覧できるとのことであった。現在ウェブサイトもリニューアルされ、収録資料の解説などがなくなってしまったが、2007 年当時のウェブサイトでは、1943 年以降に出版された女性関連の資料に加えて、大学のリサーチペーパーや女性に関する会議のペーパーなども収録されていると解説されていた。現在の DB の構成をみても、リサーチペーパーや新聞クリッピングなどの項目があるので、大きな変更はないのではないかと推測される。

<文献解説>

レバノンに関する文献目録として第1章 I-1.文献目録・人名録に収録した(A1)～(A5)も参照のこと。

(L1)

Khairallah, Shirine 1996

The sisters of men : Lebanese women in history. Beirut : Institute for Women Studies in the Arab World, Lebanese American University, 280

p.

所蔵 アジ研図(MELE/396.1/S1)

各分野の著名なレバノン女性の紹介と、簡単な背景の解説。

(L2)

1984 الخطيب, حنيفة

تاريخ تطور الحركة النسائية في لبنان وارتباطها بالعالم العربي, 1975-1800. بيروت : دار الحدائق, 227 ص.

所蔵 アジ研図(Ar/396.1/T1022)

19 世紀初頭からレバノン女性の覚醒(ナフダ)を促してきた諸要素と、20 世紀半ばまでの政治・文学・ジャーナリズム・社会・職業分野での女性団体の活動、およびそれらの活動からレバノン女性が獲得したものについて、分析している。著名なレバノン女性文学者の紹介、19 世紀後半～20 世紀半ばまでにアラブ世界で出された女性雑誌の一覧、1920 年 4 月 25 日にダマスカスで開かれたシリア会議における女性の権利に関する議論の抜粋なども掲載されており興味深い。20 世紀初頭～1970 年代の女性労働についても扱っており、最初に女性が進出した分野やパイオニア女性、女性労働者の権利獲得に関する活動などについて言及されている。

※(L36)で参照。

(L3)

بارد, نازك سلبا ونهى بيومي 2000
الكاتبات اللبنانيات : ببليوغرافيا, 1950-1850.
بيروت : دار الساقى, 279 ص.

所蔵 アジ研図(Ar/017/Ka1001)

レバノン女性の著作を集めた文献目録。著名な女性については簡単な伝記も掲載されている。小説や詩、翻訳、論文、教科書など、分野は多岐にわたり、アラビア語だけでなく他の言語で書かれた著作についても掲載している。著者ごとに文献をまとめた部分と、分野ごとに著者のアルファベット順で文献を掲載している部分、および索引からなる。女性労働に関する著作はごく一部だが、「論文」および「調査・研究・学位論文」の項に記載されている。

IV-2. 概説書

レバノン女性の概況について最もよくまとまっているのは、女性差別撤廃委員会 (CEDAW) への報告書であろう。第1～第3レポートまで出ており、各分野のレバノン女性の関連指標の掲載と、現状分析がなされており、概況を知るには基本的な資料といえる。

レバノンについては、内戦の影響もあり、統計データが蓄積されておらず、またレバノン中央統計局 (Central Administration for Statistics, Administration centrale de la statistique, ادارة الاحصاء المركزي、以下CAS)の活動も未だに活発ではない。そのためかCASの出版物で特に女性に焦点を当てたものは見当たらない。地元女性団体は数多く活動しており、出版活動もなされているが、レバノン女性の現状を包括的に描いた資料は数多くはない。

<文献解題>

レバノンに関する概説書として第1章 I-2.概説書に収録した(A7)も参照のこと。

(L4)

Commission nationale de la femme libanaise [1999]

Le rapport national unifié sur l'exécution de la plate-forme d'action de Pékin 1999. [Beirut] : La Commission nationale de la femme libanaise, 194 p.

所蔵 アジ研図(MELE/396.1/R1)

北京行動綱領実施のための国家報告書。(L21)のフランス語版。

※(L59)で参照。

(L5)

Committee on the Elimination of All Forms of Discrimination against Women (CEDAW) 2004

Consideration of reports submitted by states parties under article 18 of the Convention on the Elimination of All Forms of Discrimination against Women : initial report of states parties : Lebanon. [New York] : United Nations, 82 p.

所蔵 UN, CEDAW レポートのウェブサイトからダウンロード可能

女性差別撤廃委員会(CEDAW)に提出されたレバノンの最初のレポート。第1部では、レバノンの概況について述べた後、第2部では各分野における女性の現状について考察している。女性の経済参加をはじめとした各種の指標も掲載されているので、女性の状況を概観することができる。関連女性団体について取り上げて活動概要などを掲載しているが、英語名が正式のものとなっているものがいくつか見受けられる。

(L6)

Committee on the Elimination of All Forms of Discrimination against Women (CEDAW) 2005

Consideration of reports submitted by

states parties under article 18 of the Convention on the Elimination of All Forms of Discrimination against Women : second periodic report of states parties : Lebanon. [New York] : United Nations, 85 p.

所蔵: UN, CEDAW レポートのウェブサイトからダウンロード可能

女性差別撤廃委員会(CEDAW)に出された第2レポート。最初のレポートとはほぼ同じ構成だが、第1レポートにある全ての項目が取り上げられているわけではない。労働については、1997～2003年のデータを元に分析されている。オリジナルはアラビア語で(L22)。

(L7)

Committee on the Elimination of All Forms of Discrimination against Women (CEDAW) 2006

Consideration of reports submitted by states parties under article 18 of the Convention on the Elimination of All Forms of Discrimination against Women : third periodic report of states parties : Lebanon. [New York] : United Nations, 105 p.

所蔵: UN, CEDAW レポートのウェブサイトからダウンロード可能

女性差別撤廃委員会(CEDAW)に出された第3レポート。女性差別撤廃条約(CEDAW)の各条項に対応した分野を取り上げて解説している。労働については、2004～05年のデータを用いて検証している。オリジナルはアラビア語で(L23)。

(L8)

Khalaf, Mona Chemali c2002

"Women in postwar Lebanon." In edited by Kail C. Ellis, *Lebanon's second republic : prospects for the twenty-first century.* Gainesville, FL : University Press of Florida, pp. 146-156.

所蔵: アジ研図(MELE/30/L1)

1970～97年の女性の労働参加、貧困、および法律における女性差別について、1975～90年の内戦との関係に言及しつつ概説している。

(L9)

National Commission for Lebanese Women 2000

First official report on the Convention on the Elimination of All Forms of Discrimination against Women. Beirut : NCLW, 133 p.

所蔵: アジ研図(MELE/396.1/F1)

(L5)をNCLWが再編集して発行したもの。

※(L59)、(L103)で参照。

(L10)

[Seminar on Gender Equity] 2005

Capacity building project for development in Lebanon : the role of NGOs, civil society, and other actors. Beirut : Seminar on Gender Equity in

Lebanon 11th and 12th October 2005,
Beirut, Lebanon, proceedings report,
38 p.

所蔵: UNDP, Lebanon のウェブサイト
(www.undp.org.lb/mdgs/discussions/GEinLeb20
05.doc)

セミナーの会議録。レバノン女性に関する概況、女性団体に関する情報が掲載されている。また「女性と労働」に関するワーキング・グループもたてられており、女性を含めた立法委員会の設立や働く女性の非識字の撲滅などが提言されている。

(L11)

United Nations. Economic and Social
Commission for Western Asia 2002

*Women and men in Lebanon : a
statistical portrait.* New York :
United Nations, xiii, 116 p.

所蔵: アジ研図(MELE/396/W4)

(L20)の英語版だが、章立てなど一部異なり、アラビア語版にある結論の章が、この英語版にはない。法的地位、人口、教育、保健とリプロダクティブ・ヘルス、労働と経済、政治・意思決定への参加を各章で扱っている。第5章労働と経済では、就労状況、失業、収入やインフォーマルセクターでの労働などについて、主に1997年のデータを用いて解説している。

※(L59)で参照。

(L12)

United Nations Development Fund For
Women 2002

*Evaluating the status of Lebanese
women in light of the Beijing Platform
for Action.* Amman : UNIFEM, Arab
States Regional Office, 111 p.

所蔵: アジ研図(MELE/396.1/E1)

UNIFEMが中東各国の女性の状況についてまとめたシリーズの一つ。教育、保健、女性に対する暴力、女性と戦争、経済活動、意思決定、ナショナル・マシーナリー、人権、メディア、環境、女兒の各分野について、概況をまとめている。経済活動については、国連やレバノンの労働統計などを利用したデータが掲載されている。(L19)がアラビア語版。

(L13)

United Nations Development Programme
2002

*Globalization : towards a Lebanese
agenda : national human development
report, Lebanon 2001-2002.* Beirut :
UNDP, 159 p.

所蔵: アジ研図(MELE/33/G1)

UNDP レバノン事務所と、開発と再建会議(Council for Development and Reconstruction (CDR), مجلس الإنماء والإعمار في لبنان)が協力して出したレバノンの人間開発報告の第3冊目。アラビア語でも出版されている。グローバリゼーションがテーマで、国際競争と市場、金融セクター、IT、教育とグローバリゼーション、社会保護と社会政策改革、司法が各章で扱われている。特にジェンダーに関する章はないが、第7章の社会保護と社会政策改革では、教育や保健、社会福祉に関する歳出、健康保険、年金制度などについて述べられている。

(L14)

[الأمم المتحدة: اللجنة الاقتصادية والاجتماعية لغربي آسيا]
2003

إبماح قضايا المرأة في السياسات والبرامج على
المستوى الوطني: دراسة حالة لبنان. [بيروت]:
اللجنة الاقتصادية والاجتماعية لغربي آسيا، 22 ص.

所蔵 アジ研図(Ar/396.1/I1006)

ESCWA がバイルートで 2003 年 12 月に行った
ジェンダー問題の政策への統合に関するワークショ
ップで提出されたもので、国連文書
(E/ESCWA/SDD/2003/WG.6/CP.5)として発行され
た。レバノンの国際協定の批准状況、第 4 回世界
女性会議後の活動、レバノンの女性団体が達成した
法律改正について述べている。労働法の改正にも触
れられている(pp.8-9)。

(L15)

برنامج الأمم المتحدة الإنمائي 1999

الشباب والتنمية: التقرير الوطني للتنمية البشرية في
لبنان. بيروت: برنامج الأمم المتحدة الإنمائي، 142
ص.

所蔵 アジ研図(Ar/301.18/S1004)

UNDP レバノン事務所が、開発と再建会議
(Council for Development and Reconstruction
(CDR)، مجلس الإنماء والإعمار في لبنان)と協力して出し
たレバノンの人間開発報告の第 2 冊目。英語での出
版はない。テーマは「若者」で、教育、労働、保健、
家族、政治参加などの様々な側面を扱っている。第
5 章で若者の労働条件や賃金、失業について述べら
れている。

なお最初のレバノン人間開発報告 1996-1997「レ
バノンにおける持続的人間開発の特徴(ملاح التنمية)

البشرية المستدامة في لبنان」は、ウェブサイトには掲載さ
れていない。

(L16)

برنامج الأمم المتحدة الإنمائي 2009

نحو دولة المواطن: التقرير الوطني للتنمية البشرية
في لبنان. بيروت: برنامج الأمم المتحدة الإنمائي،
82 ص.

所蔵 アジ研図(Ar/321/N1004)

UNDP レバノン事務所が出したレバノンの人間開
発報告の第 4 冊目。アラビア語と英語(*The national
human development report 2008-2009* :
toward a citizen's state)で出されている。テーマは
市民権で、政治、社会経済、文化など様々な側面
における市民権とその現状、また様々な宗派が存在す
るレバノンにおいて、宗教と市民権の関係などにこつ
いて考察している。

(L17)

بشعور، نجلاء نصير 1975

المرأة اللبنانية: واقعها وقضاياها. بيروت: دار
الطليعة، 68 ص.

所蔵 アジ研図(Ar/396.1/M1031)

レバノン女性の概況について述べるとともに、経
済、組合、政治、社会、家族法についてとりあげ解説
している。「経済」の章では、CAS の統計などを用い
て、女性労働者に関する地域的分布、学歴、就労分
野、労働力外女性に関して解説している。ただしデ
ータが何年のものか明示されていないものもある。

※(L36)で参照。

- (L18) 1999 الهيئة الوطنية لشؤون المرأة اللبنانية
 التقرير الوطني الموحد في تنفيذ منهاج عمل بيجين
 1999. [بيروت]: الهيئة الوطنية لشؤون المرأة
 اللبنانية, 168 ص.
- خطب, زهير 1980
 "تحرير المرأة في النصوص ام في النفوس؟"
 قضايا عربية (2), 7, ص. 271-275.
- 所蔵 アジ研図(Ar/396.1/T1026)
- 統計データを用いてレバノン女性に関する概況に
 ついて解説している。
- 所蔵 アジ研図(Ar/396.1/T1027)
- 第4回世界女性会議後のレバノンの国家戦略や、
 関連団体の方向性、財政状況について述べた後、
 北京行動綱領の各分野における発展やその障害に
 ついて述べている。「女性と経済」の項(pp.85-98)で
 は、1995年の男女の賃金格差や職業別の男女比、
 労働省での女性職員比率、労働組合、女性労働者
 に対する支援体制などが言及されている。データの
 多くは(L34)からの引用となっている。
 フランス語版は(L4)。
- (L19) صندوق الامم المتحدة الانمائي للمرأة (اليونيفيم). المكتب
 الاقليمي للدول العربية 2002
 تقييم وضع المرأة اللبنانية في ضوء منهاج عمل
 بيجين. عمان: صندوق الامم المتحدة الانمائي للمرأة
 (اليونيفيم), المكتب الاقليمي للدول العربية, 111
 ص.
- 所蔵 アジ研図(Ar/396.1/T1003)
- (L12)のアラビア語版。
- (L20) فريق العمل الوطني المعني بإحصاءات النوع الاجتماعي ;
 بمساندة منظمات الأمم المتحدة العاملة في لبنان 2000
 المرأة والرجل في لبنان : صورة إحصائية. بيروت :
 الهيئة الوطنية لشؤون المرأة اللبنانية, 111 ص.
- 所蔵 NCLW 図
- (L11)のアラビア語詳細版。結論部分など、(L11)
 には掲載されていない部分も含まれている。
- (L22) 2004 الهيئة الوطنية لشؤون المرأة اللبنانية
 التقرير الرسمي الثاني حول اتفاقية القضاء جميع
 أشكال التمييز ضد المرأة. بيروت : الهيئة الوطنية
 لشؤون المرأة اللبنانية, 94 ص.
- 所蔵 アジ研図(Ar/396.1/T1018)
- 女性差別撤廃委員会(CEDAW)に出された第2
 レポートで(L6)のアラビア語オリジナル版。労働に
 ついては、pp.62-69に記載されている。
- (L23) 2006 الهيئة الوطنية لشؤون المرأة اللبنانية
 التقرير الرسمي الثالث حول اتفاقية القضاء جميع
 أشكال التمييز ضد المرأة. بيروت : الهيئة الوطنية
 لشؤون المرأة اللبنانية, 115 ص.
- (L21)

所蔵 アジ研図(Ar/396.1/T1019)

(L7)のアラビア語オリジナル版。労働については、
pp.52-64に記載されている。

IV-3. 統計資料

レバノンにおいては1975～76年の内戦で多くのデータが破壊され回復が難しいこともあり¹、過去の統計データを連続的に収集するのが難しい状況にある。レバノン統計を作成するCASは1979年の法令で設立されたが、その後も内戦や戦争、政情不安が続いており、十分に機能してきたとは言い難い。しかし現在ではCASウェブサイトも開設され(<http://www.cas.gov.lb>)、近年の統計年鑑、消費者物価指数など、2000年以降のデータはダウンロードできるようになった。また2004年には生活水準調査も行われ、徐々にレバノンに関する統計データが入手できるようになってきている。しかしカバーしている領域はまだ十分ではなく出版点数も少ない。また後述するように人口センサスは1932年以降実施されていない。こうした状況のため、レバノンの統計に関しては、国際機関などの統計資料に頼らざるを得ない部分が多い。

CASの他に各省庁のウェブサイトに関連する統計を入手できるものもある。またCASのデータを補うにあたり、最も包括的にレバノンに関するデータを掲載していると考えられるのは、ESCWAの統計年鑑であることから、これについても本書に収録した。

<文献解題>

(1) 統計年鑑/月刊

レバノンの統計年鑑は計画省から1963年に第1巻が発行された(L24)。その後、実際に何年まで発行されていたのかは不明だが、近年の統計年鑑は、

¹ Chamie, M., c1985. "Labour force participation of Lebanese women." In edited by Julinda Abu Nasr, Nabil F. Khoury and Henry T. Azzam eds., *Women, employment, and development in the Arab world* (New Babylon, studies in the social sciences ; 41). Berlin : Mouton Publishers (本書L40), p.75.

名前も変わってCASから発行されている。

(L24)

Direction centrale de la statistique 1963-

Recueil de statistiques libanaises.

Beyrouth, Liban : Ministère du plan,

Direction centrale de la statistique, v.

所蔵: アジ研図(LEBAN/OA1 および/31/Le1、1963～73を所蔵)

1963年から刊行されていたレバノンの統計年鑑。1963～70年には人口動態や貿易、教育や保健に関する統計はあるが、労働統計は掲載されていない。1971～73年には労働統計も掲載されている。

(L25)

Central Administration for Statistics

Statistical yearbook. Beirut :

Presidency of the Council of Ministers,

CAS, v.

所蔵: アジ研図(2006年版 LEBAN/OAn1、2007年版 LEBAN/OAn2)

CASから出されているレバノンの統計年鑑。労働関係の統計は、第1章「レバノン居住者(Residents in Lebanon)」に掲載されている。なお、アジ研図書館では2006年版はフランス語版しか所蔵がないが、CASのサイトでは英語で2006年のデータも閲覧できる。ただし2006年版の労働関係の統計は、国籍別および職業別の労働許可数しか掲載されていない。

また2011年7月現在では、2008年版が最新で、新しいものが出版されていない。

(L26)

Direction centrale de la statistique

Bulletin statistique mensuel

=النشرة الاحصائية.

Beyrouth : Ministère du plan,

Direction centrale de la statistique, v.

所蔵: アジ研図(LEBAN/OM1、1963～2001 を所蔵)

レバノンの統計月刊。労働については、外国人に対する労働許可数についてのみ記載されている。

(L27)

United Nations. Economic and Social
Commission for Western Asia

*Statistical abstract of the region of the
Economic and Social Commission for
Western Asia*

=المجموعة الإحصائية لمنطقة اللجنة الاقتصادية
والاجتماعية لغربي آسيا.

Amman : United Nations, v.

所蔵: アジ研図(ESCWA/OA1、1975～所蔵)

ESCWA から出版されている統計年鑑。ESCWA が西アジア経済委員会 (Economic Commission for Western Asia (ECWA), اللجنة الاقتصادية لغربي آسيا) だった時代には *Statistical abstract of the region of the Economic Commission for Western Asia = المجموعة الإحصائية لمنطقة اللجنة الاقتصادية لغربي آسيا* の名称で出版されており、1983 年版から現在の名称に変更された。人口、国民勘定、各種産業、貿易、物価、財政、教育などのデータが掲載されている。近年では、ジェンダーの項目も設けられている。データソー

スは、国連やILOなど国際機関の統計、および各国統計局の統計で、国や項目、年によって異なるデータソースを用いているため、比較の際には注意が必要である。

人口の項に労働に関するデータも含まれているが、経済活動への参加や失業、年齢階層別や産業別の労働力分布など、データの内容は年によって異なる。

(2)人口センサス

レバノンにおいては、1932年にフランス委任統治当局によって行われた人口センサスの結果に基づき、各宗派の人口に応じて議会の議席数や政治権力が分配される制度が構築された。1989年のターイフ合意によりこの配分には変更が加えられたが、現在に至るまで人口センサスは実施されていない。1995～97年および2004年には建物・住居・事業所センサス(نتائج دراسة تيوبيم مطبقي المباني والمؤسسات 2004 CAS ウェブサイト→Census of Buildings & Establishments からレバノン全体に関する表のみダウンロード可能。アジ研図書館所蔵資料にはアラビア語の各県版の解説と表が掲載されている。)が実施されたが、これには労働に関する情報は掲載されていない。

(3)労働統計

労働に特化した統計資料は、過去には存在したが、現在はCASから出されていない。包括的なレバノンの生活調査を行った資料では、労働に関する統計も掲載されている場合もあり、こうした資料については<その他>で紹介する。

ILO の労働統計データベース (LABORSTA <http://laborsta.ilo.org/>) で検索しても、レバノンについてはデータのない項目の方が多く、またデータの

ある項目でも1970年、1997年、2004年、2007年と
いったように断続的にしかデータが存在しない。
1970年についてはデータソースが Labour force
survey とあるが下記に掲載した資料を指しているの
かどうかは不明である。2004年と2007年について
は(4)その他に収録している(L35)をデータソースと
している。

(L28)

Direction centrale de la statistique 1972

*L'enquête par sondage sur la
population active au Liban, novembre
1970*

*= القوى العاملة في لبنان : تحقيق احصائي بالعينة,
تشرين الثاني 1970.*

[Beyrouth] : Ministère du plan,
Direction centrale de la statistique, 2
v.

所蔵 アジ研図(LEBAN/112)

1970年に行われた労働力調査(サンプル調査)。
外国人も含め、レバノン全土の居住者を対象にして
いるが、パレスチナキャンプの居住者は対象外とさ
れている(v.1, p.20)。第1巻が解説(アジ研図書館所
蔵資料はフランス語のみ)、第2巻がデータ(アジ研
図書館所蔵資料はフランス語アラビア語併記)となっ
ている。第2巻では、第1部に主題ごと(人口と住居、
教育、労働)のテーブルが、第2部には県別のテー
ブルが掲載されている。

(L29)

Administration centrale de la statistique
1998

La population active en 1997

= القوى العاملة في عام 1997

(Etudes statistiques ; no. 12) .

[Beyrouth] : Administration centrale
de la statistique, 137, 20 p.

所蔵 アジ研図(LEBAN/113)

(L32)のデータから、労働力に関するデータをま
とめなおしたもの。年齢別、職業別、学歴別、産業別、
従業上の地位別、県別の実数とパーセンテージが
記載されている。家に住みこんで働く労働者と、退職
後に働いている人が含まれているため、(L32)と数
値が異なる部分がある(p.8)。実数と%が記載されて
いるが、実数はサンプルの比率をレバノン人口全体
に適用してしたものを記載しているように思われ、そ
のためか実数の表で合計が合わないものがかかりあ
る。

(4)その他

レバノンでは労働統計が存在しないことから、それ
を補う資料を中心に以下に収録した。

女性に関する統計については、NCLW が、1997
～98年に包括的な調査を行い、1970年まで遡って
過去の統計データを利用する形で取りまとめたもの
(L33)と、1996～97年までのデータをまとめたもの
(L34)を出版している。

またCASウェブサイトにも”Gender Statistics”の
項目がある。ただし、2010年6月に行われたジェン
ダー統計に関する会議「レバノンにおけるジェンダ
ー統計：現状と将来的ニーズ(Gender statistics in
Lebanon: current situation and future needs)」
に関する文書が掲載されており、”Presentations”の
項にあるPDFにいくつかのデータが含まれている
程度である。

(L30)

Administration centrale de la statistique
1997

*Conditions de vie des ménages dans la
région de Baalbeck - Hermel en 1997*

*الأوضاع المعيشية للأسر في منطقة بعلبك - الهرمل
في عام 1997*

(Etudes statistiques ; no. 7).

[Beyrouth] : Administration centrale
de la statistique, 146, 71 p.

所蔵 アジ研図(LEBAN/6I1)

(L32)の調査結果のバアルバックおよびアルヘルメルに関するもの。1,024住居が調査対象となっている。人口、教育、労働、住居、交通、保健、収入、家計に関するデータが掲載されている。

(L31)

Administration centrale de la statistique
1998

*Conditions de vie des ménages dans la
région du Aakar en 1997*

*الأوضاع المعيشية للأسر في منطقة عكار في عام
1997*

(Etudes statistiques ; no. 10).

[Beyrouth] : Administration centrale
de la statistique, 146, 72 p.

所蔵 アジ研図(LEBAN/6I3)

(L32)の調査結果のアッカールに関するもの。1,014住居が調査対象となっている。人口、教育、労働、住居、交通、保健、収入、家計に関するデータが掲載されている。

(L32)

Administration centrale de la statistique
1998

Conditions de vie des ménages en 1997

الأوضاع المعيشية للأسر في عام 1997 =

(Etudes statistiques ; no. 9).

[Beyrouth] : Administration centrale
de la statistique, 257, 81 p.

所蔵 アジ研図(LEBAN/6I2)

1997年にレバノン全土の20,432住居の16,864世帯を対象に行われた調査結果。人口、教育、労働、住居、交通、保健、収入、家計に関するデータが掲載されている。

(L33)

Comité national de la femme 1997

*La femme libanaise 1970-1995 :
chiffres et sens*

واقع المرأة اللبنانية, 1970-1995 : أرقام ومعان =

[Beyrouth] : La Source , 2 v.

所蔵 アジ研図(LEBAN/9I7)

1996～98年にNCLWの前身である女性国家委員会(Comité national de la femme)が行った調査の第一段階で、レバノン女性に関する基礎データとしてまとめられたもの。1970～95年の人口状況、女子教育、家族生活、経済活動への参加に関するデータが掲載されている。データは、過去のCASの調査や、聖ヨセフ大学、社会問題省などが行った調査を利用してまとめられている。第1巻はフランス語とアラビア語からなる解説、第2巻が統計データ(フランス語アラビア語併記)を掲載している。レバノンの

過去の統計は入手が難しいこともあり、女性に関する貴重なデータ集である。(L34)が続刊。

※(L20)～(L21)、(L36)、(L51)、(L64)で参照。

(L34)

Comité national de la femme 1998

La femme libanaise 1996-1997 : chiffres et sens

توافق المرأة اللبنانية، 1997-1996 : أرقام ومعان.

[Beyrouth] : La Source , 2 v.

所蔵 アジ研図(LEBAN/9Ir8/)

(L33)の続刊。1996～98年にNCLWの前身である女性国家委員会(Comité national de la femme)が行った調査の第二段階で、レバノン女性に関する基礎データとしてまとめられた。1996～97年の人口状況、女子教育、家族生活、保健、女性が家長である家族の生活水準、女性労働者と求職者、女性が選択した職業、経済活動への参加、女性の労働環境という章立てになっている。データは、CASや雇用事務所、IWSAWなどが行った調査を利用してまとめられている。第1巻はフランス語とアラビア語からなる解説、第2巻が統計データ(フランス語アラビア語併記)となっている。

※(L8)、(L20)～(L21)、(L59)で参照。

(L35)

Ministry of Social Affairs, UNDP and Central Administration for Statistics
2006-

Living conditions of households : the

national survey of household living conditions

تقرير الأوضاع المعيشية للأسر : الدراسة الوطنية للأحوال المعيشية للأسر.

Beirut : CAS, v.

所蔵 : アジ研図(2004年冊子体LEBAN/9Ir4/2004、2004年および2007年CDROM版 /Cdrom/C1254);CASウェブサイトのPublicationsからダウンロード可能

2004年版と2007年版が出ている。2004年版はプロジェクト「貧困削減のための能力向上(Capacity building for poverty reduction)」の成果をまとめたもの。英語とアラビア語で書かれ、人口、住居、教育、労働の各章からなる。

2007年版は、2004年からの変化を、2006年のイスラエルとの戦争の影響も含めて調査するために実施された。2007年版は本文はアラビア語のみだが、統計データの表は英語アラビア語併記である。人口、教育、労働、保健、文化活動とレジャーの各章から成る。レバノン全国の7,571世帯に質問票を配布し、回答のあった6,686世帯の結果をまとめている。ただし、この調査では国籍には関わらず、パレスチナ難民キャンプ居住者は調査対象外としている。

いずれも労働については、年齢や学歴などによる労働力分布や失業者に関するデータが掲載されている。

※以下の資料については、本書収録文献の中で参照されていたが所在を確認できなかった。

•Ministry of Social Welfare, 1996. *Population and housing survey*. Beirut ; [Ministry of Social Welfare] , [1996?]

•*National fertility and family planning survey for Lebanon (NFFP)*, [出版者については情報な

し], 1971

・Ministère de l'industrie et du petrole, Council for Development and Reconstruction (CDR), [1986]. *Recensement industriel, 1986*. Beirut ; [Ministère de l'industrie et du petrole, Council for Development and Reconstruction] , [1986] : 5 人以上の従業員を抱える 11,000 工業事業所をカバー。1987 年に改訂される。

IV-4. 女性労働研究

レバノンの女性労働に関する文献でここに収録したものは、英語25点、フランス語2点、アラビア語18点、計45点である(第1章I-4.女性労働研究に収録した文献を含む。また英語アラビア語併記の場合は、英語文献として数えている)。

レバノンについては、本書の収録文献は限定的となってしまうため、本書の収録文献のみからレバノン女性労働研究の傾向を判断することは難しい。しかし一定程度の傾向は反映されているものと考え、レバノンの女性労働研究の傾向について、シリアやヨルダンとの相違点を中心に簡単に述べることにする。

第一の特徴として、欧米語文献の多さが目立つ。アラビア語文献が多いシリアやヨルダンと比べて、これは大きな違いであるといえよう(アラビア語文献比率はシリア76%、ヨルダン62%に対して、レバノンは40%)。レバノンでは、主要な大学図書館としてAUB図書館とLAU図書館で調査をおこなったが、いずれの大学も英語による教育が中心である。今回十分に調査できなかったフランス語文献と、アラビア語で教育をおこなっているレバノン大学(Université

Libanaise, الجامعة اللبنانية) 図書館の所蔵資料を加えた場合、欧米語とアラビア語文献のどちらが多くなるのかは不明である。

英語文献のうち、図書2点、単行書所収論文5点がIWSAWの出版物である。大学出版社および商業出版社の出版物は図書1点、単行書所収論文5点で、また雑誌論文3点は学術誌に掲載されたものである。欧米語文献27点のうち、上記計16点は学術的な著作といえる。これは、レバノンの女性労働が欧米でも学術的な関心を惹いていること、またレバノンの研究者も研究成果の発信を英語で行うことが多いことを示している。

これに対して、アラビア語の文献は図書が大半(12点)で、4点が地元の女性団体の出版物、ESCWAおよびALOなど国際機関出版物が3点、CAWTAR出版物2点、IWSAWの出版物1点などからなる。

総じて学術出版物の比率が高いのは、女性研究の専門機関が未成熟なシリア、ヨルダンとは異なり、レバノンでは1973年に設立されたIWSAWを中心に早くから女性研究が行われてきたことが要因の一つとしてあげられるだろう。

表5 言語別・資料種別別収録文献数 (レバノン女性労働研究)

	図書	雑誌論文	単行書所収論文	計
英語・フランス語	11	6	10	27
アラビア語	12	1	5	18
計	23	7	15	45

表6 出版年別収録文献数 (レバノン女性労働研究)

	1970年代	1980年代	1990年代	2000年～	計
英語・フランス語	1	10	9	7	27
アラビア語		6	6	6	18
計	1	16	15	13	45

<文献解題>

出版年別にみると、上記のようになる。今回の調査では1971年の英語文献が最も古い文献であった。1980年代は特にIWSAWの出版物が多く(7点)、他にILO出版物(1点)もIWSAWの研究者が執筆している。他に時代的な特徴としては、1990年代以降になると特に欧米語の文献で、女性の起業支援などのプログラムに関する文献が出てくる点が指摘できる。

文献調査が十分ではないため、研究テーマの特徴を指摘するのは難しいが、欧米語文献、アラビア語文献とも、シリアやヨルダン同様、どのような女性がどの分野にどれだけ就労しているか、また具体的な女性の労働環境や女性労働者が抱える問題に対する関心の強さがうかがえる。しかしヨルダンの学術論文に見られるような学歴や子供の数といった変数を用いて、統計的に女性の労働参加(あるいは不参加)の要因を分析するような研究は少ない。またアラビア語文献と欧米語文献の傾向に大きな違いが見られず、国家の政策や経済状況の女性労働への影響、雇用者の女性労働者に対する需要、また女性労働がもたらす社会変容について考察されている。加えて内戦やイスラエルによる侵攻をたびたび受け、その影響を政治、経済、社会の様々な面で被ってきたレバノンにおいては、女性労働への戦争の影響についても調査されており、レバノンの辿った特殊な歴史を物語っている。

レバノンに関する女性労働研究文献として第1章I-4.女性労働研究に収録した(A9)～(A10)、(A13)、(A16)～(A17)、(A19)も参照のこと。

(L36)

Abisaab, Malek 2010

Militant women of a fragile nation.
Syracuse, N.Y. : Syracuse University
Press, xxxi, 300 p.

所蔵 アジ研図(MELE/331.4/M1)

フランス占領期から現代にいたるまでの変化(工業化、資本主義化と国民国家の成立)を背景に、植民地主義者、資本主義者、レバノン国家に挑む女性労働者の闘争を分析することで、レバノン「国民」の新たな肖像を描き出そうとするもの。

レバノンのタバコ産業(具体的にはフランスのタバコ専売会社(Régie Co-Intéressée Libanaise des Tabacs et Tombac、以下 Régie))で働く女性労働者の活動を、労働組合や政党の資料、新聞記事、Régieの356人の労働者(男性69人、女性287人)に対する1997年に行った質的調査、および Régieの従業員に関する記録、オーラルヒストリーを用いて分析し、レバノンの変容におけるジェンダーと階級の影響を明らかにしている。

(L37)

Ahmad, Zena Ali 1997

"Female labor force in Lebanon."
al-Raida (77), pp. 34-38.

所蔵 アジ研図(P/396.1/R1001)

IWSAW の雑誌「パイオニア女性(*al-Raida*)」の特集「アラブ女性と貧困(Arab women and poverty)」に収録された論文。女性労働力の地理的分布、年齢分布、家族状況、学歴、職業や労働状況などについて簡単に紹介している。

(L38)

Atallah, Samira A. 1997

"Factories without walls : women's labor and tobacco production in Lebanon." *al-Raida* (79), pp. 12-26.

所蔵 アジ研図(P/396.1/R1001)

IWSAW の雑誌「パイオニア女性(*al-Raida*)」の特集「農業における女性(Women in agriculture)」の中の論文の一つ。1994～95年にレバノンのタバコ産業で働く女性労働者について行った調査結果。関係省庁やタバコ会社、NPO、国際機関、女性労働者へのインタビューを通して情報を収集している。タバコ産業で働く女性の学歴や宗教、担当する仕事の内容などについて調査している。

(L39)

Boustani, Samih and Nada Mufarrej 1995

"Female higher education and

participation in the labour force in Lebanon." In edited by Nabil F. Khoury and Valentine M. Moghadam eds., *Gender and development in the Arab world : women's economic participation : patterns and policies*. Atlantic Highlands, N.J. : Zed Books, pp. 97-124.

所蔵 アジ研図(/396/Ge1003)

1970～90年の各種統計を用いながら、女性の労働参加と教育の関係について考察したもの。伝統的なジェンダー・パターンが、戦争により一部は取り除かれたものの、女性の進出を阻害していると議論している。

※(J74)、(L103)で参照。

(L40)

Chamie, M. c1985

"Labour force participation of Lebanese women." In edited by Julinda Abu Nasr, Nabil F. Khoury and Henry T. Azzam eds., *Women, employment, and development in the Arab world* (New Babylon, studies in the social sciences ; 41). Berlin : Mouton Publishers, pp. 73-102.

所蔵 アジ研図(/396/Ab1)

1950～76年までの各種統計を用いてレバノン女性の就労状況、女性労働者の社会経済的背景、特に結婚と女性の労働参加についての関係について分析している。

※(L36)、(L39)、(L69)で参照。

(L41)

Chikhani-Nacouz, Leila 1988

"Maternite et travail au Liban." In sponsored by the Institute for Women's Studies in the Arab World, Beirut University College ; coordinators, Julinda Abu Nasr and Irini Lorfing ; edited for publication by Giovanni Chimienti, *Women and economic development in the Arab world : a regional conference = Les femmes et le développement économique dans le monde arabe : une conférence régionale*. Beirut : IWSAW, pp. [69]-93.

所蔵 アジ研図(M/396.1/W15)

(J117)と同文献に収録されている論文。1980年代前半の統計などを用いて、働いている母親にとつての労働の意味や、労働者としての役割と母親役割との両立が困難なことから起こる心理的、社会的問題について、分析している。

(L42)

Clark, Janet Hyde and Irene Lorfing [1987?]

Tasks of women in industry (Monographs of the Institute for Women's Studies in the Arab World ; 6). Beirut : Institute for Women's Studies in the Arab World, 67 p.

所蔵 アジ研図(MELE/331.4/T1)

レバノン工業における女性の地位と状況、潜在的

な役割について見定めることを目的に、生産ラインにおける性別役割分業について考察するもの。1982年にベイルートとその周辺の14企業で調査を行い、1975年と1982年の労働力分布に関する変化や、生産ラインにおける男女別の作業内容、労働者のスキルや、それに対する雇用者の態度などについて分析している。

※(L36)、(L69)で参照

(L43)

Hanna, Bechara [et al.] 2002

National gender sensitive programming guidelines for small and micro enterprises in Lebanon : the Regional Technical Resource Network for Woman's Small and Micro Enterprises in the Arab states, Jordan, Lebanon, Syria and Gaza Strip. Amman : UNIFEM, 99 leaves.

所蔵 アジ研図(MELE/331.4/N1)

レバノン、シリア、パレスチナ、ヨルダンでは経済が中小企業の活力に依存しているとして、UNIFEMが行ったプログラム「アラブ諸国における女性の小規模事業のための地域的技術資源ネットワーク(The regional technical resource network for woman's small and micro enterprises in the Arab states (TRN))」の成果。レバノンの経済的社会的概況について記述した後、経済活動における女性の役割と貢献について、また女性が起業に際して直面する問題について議論している。

シリア編は(S57)、ヨルダン編は(J89)。

(L44)

Husseini, Randa 1997

"Promoting women entrepreneurs in Lebanon : the experience of UNIFEM." *Gender and development* 5(1), pp. 49-53.

所蔵 アジ研図(P/396/Ge1001)

政府とNGOの小規模事業に関する能力強化とジェンダーに敏感なサービスの提供を目的としたUNIFEMのプログラムについて、プログラム実施者の一人として解説したものを。

(L45)

International Finance Corporation. Gender Entrepreneurship Markets [2007?]

GEM country brief : Lebanon 2007
(Gender Entrepreneurship Markets (GEM) country brief series).
Washington : IFC, 12 p.

所蔵 : IFC ウェブサイト
([http://www.ifc.org/ifcext/gempepmena.nsf/AttachmentsByTitle/Lebanon_GEM_Country_Brief/\\$FILE/Lebanon+GEM+Country+Brief+Feb+2007.pdf](http://www.ifc.org/ifcext/gempepmena.nsf/AttachmentsByTitle/Lebanon_GEM_Country_Brief/$FILE/Lebanon+GEM+Country+Brief+Feb+2007.pdf))

中東における中小企業支援と女性の雇用機会の拡大を通して女性の経済参加を促進しようとするIFCのプログラムに基づく資料。女性の労働参加の現状、女性が所有する企業、女性の参入を阻む障壁、女性実業家団体などが紹介されている。

※(A10)で参照。

(L46)

Joseph, Suad c1971

"Zaynab : an urban working-class Lebanese women." In edited by Elizabeth Warnock Fernea and Basima Qattan Bezirgan, *Middle Eastern Muslim women speak* (The Dan Danciger publication series). Austin : University of Texas Press, pp. [359]-372.

所蔵 アジ研図(/396/Fe1)

アラブ世界のムスリム女性23名の短い伝記やインタビュー、詩などを集めた資料に掲載されている論文。著者であるスアード・ジョセフ(Suad Joseph)が出会ったバイルート郊外のブルジュ・ハンムードに住むシーア派の女性ザイナブの生活を描いている。具体的な生活の様子に加えて家計に関する具体的な情報も出てくる点などが興味深い。

(L47)

Joseph, Suad 1983

"Working class women's networking in sectarian state : a political paradox." *American ethnologist* 10(1), pp. 1-22.

所蔵 アジ研図(JSTOR)

レバノンのトラド・キャンプ(Camp Trad)において女性労働者の宗派や国籍を超えた近隣ネットワークを事例としながら、女性労働者のネットワークがいかに政治的重要性をもつかを考察する。ネットワークは、キリスト教徒の支配層に対抗し、基本的なサービスを提供し、参加者の価値やアイデンティティを変容させ、

統一的なアイデンティティを生み出す母体となり得る可能性を持つものであったが、内戦中のキリスト教徒支配層による宗派に基づく近隣ネットワークの再構築などにより、この女性ネットワークは破壊されてしまったとしている。

(L48)

Joseph, Suad c1998

"Marcel : straddling visible and invisible Lebanese economies." In edited by Richard A. Lobban, Jr. ; foreword by Elizabeth W. Fernea, *Middle Eastern women and the invisible economy.* Gainesville, Fla. : University Press of Florida, pp. [233]-244.

所蔵 アジ研図(M/331.4/M1)

レバノンのパレスチナ難民女性を具体事例として追いながら、見える経済(Visible Economy)と見えざる経済(Invisible economy)の領域がいかにあいまいで、浸透しあっているかについて考察したもの。主に1950~70年代の具体的な労働状況や、いくつかの仕事をやりくりしながら生活する行為者の生活戦略が具体的に語られている。

(L49)

Khalaf, Mona 1988

"Assessing the economic contribution of women : a study of two Lebanese villages." In sponsored by the Institute for Women's Studies in the Arab World, Beirut University

College ; coordinators, Julinda Abu Nasr and Irini Lorfing ; edited for publication by Giovanni Chimienti, *Women and economic development in the Arab world : a regional conference = Les femmes et le développement économique dans le monde arabe : une conférence régionale.* Beirut : IWSAW, pp. [157]-171.

所蔵 アジ研図(M/396.1/W15)

(J117)と同文献に収録されている論文。

西ベカーア地域の二つの村51家族を対象に行った調査に基づき、女性労働の経済的な貢献について、その質はどのようなものか、貢献の割合をどう測定できるのか、貢献のレベルに影響するのは経済的要素か社会的要素かについて、特に農業における女性の貢献に注目しながら分析している。結論では、全ての女性が何らかの方法で家計全体の5~7%に貢献していると述べている。

(L50)

Khalaf, Mona and I. Lorfing 1985

The economic contribution of women and its effects on the basic dynamics of the family in two Lebanese villages (World employment programme research working papers ; no. 148). [Beirut?] : International Labour Organization, 38 p.

所蔵 AUB 図

(L49)の元になった研究。

※(L57)で参照。

(L51)

Lebanese American University. Institute
for Women's Studies in the Arab World
1998

Female labor force in Lebanon

القوى العاملة النسائية في لبنان =

Beirut : IWSAW, 2 v.

所蔵 LAU 図; ESCWA 図

IWSAW が、USAID の資金援助を受けて 1996～97 年に行った女性労働に関する包括的な調査。効果的な政策や計画策定に資するデータの提供を目的としている。第1巻が包括レポート、第2巻は統計データとなっている。女性労働を規定する法的枠組みや、国家機関や国際機関の統計データなどを使用して女性労働の概況や背景について述べるとともに、フィールドワークを通して得たデータを用いて、女性労働者の特徴、地位、労働環境、女性労働者が直面する制約、女性労働に対する態度について分析し、また雇用者調査から女性労働力に対する将来的な需要について分析している。

※(L9)で参照。

(L52)

[Lebanese American University. Institute
for Women's Studies in the Arab World]
1998

“Women in the labor force.” (特集タイトル) *al-Raida* (82).

所蔵 アジ研図(P/396.1/R1001)

IWSAW の雑誌「パイオニア女性(*al-Raida*)」の女性労働に関する特集号。「レバノンにおける女性

労働力(Female labor force in Lebanon)」(pp. 12-24)は、レバノンの女性労働に関する概要や、賃金や労働条件、女性労働に対する社会、雇用者、女性労働者自身の態度などについて簡単に解説している。典拠が記載されていないのが残念だが、レバノンの女性労働の概観を把握するには便利である。

またこの特集号では、働く女性へのインタビュー(女性タクシー運転手や書店店主、社会問題省の局長やレバノン女性労働者連盟(Working Women League in Lebanon)会長など)、職場におけるセクハラに関する論考(pp.34-36)、レバノンの雇用事務所の求職者のデータが掲載されている。

なお同雑誌「パイオニア女性(*al-Raida*)」(9)1978でも特集「女性と労働(Women and work)」が組まれている。この中で特にレバノンに言及した論考としては「レバノンにおける女性の雇用(Women employment in Lebanon)」(p.10)がある。

(L53)

Lorfin, Irene 1983

"Women workers in Lebanese industry." In compiled by Nagat M. el-Sanabary, *Women work in the third world : the impact of industrialization and global economic interdependence*. Berkeley : Center for the Study, Education and Advancement of Women, University of California, pp. 183-192.

所蔵 LAU 図

カルフォルニア大学で1982年と1983年に開催された会議の会議録に収録された論文。女性工場労働者の特徴、労働環境、女性労働者の仕事に対する態度、工業部門における女性の雇用に影響を与える

要素などについて述べている。

※(L36)、(L39)、(L42)で参照。

(L54)

Lorfting, I. and Julinda Abu Nasr 1980

"The female industrial worker in the suburbs of Beirut in 1979." In Institute for Women's Studies in the Arab World, *Women and work in Lebanon* (Monographs of the Institute for Women's Studies in the Arab World ; 1). Beirut : IWSAW, pp. 38-62.

所蔵 アジ研図(MELE/331.4/W1)

1979年に行われたベイルート郊外の10工場での調査結果をまとめたもの。女性工場労働者の生活と仕事の状況について調査し、女性労働者とその家族の生活の質の向上のために企画された非公式教育プログラムに対するニーズと、その弱点について考察することを目的としている。対象となった労働者の年齢構成や学歴、労働環境、家庭環境などについて調べている。

※(L42)、(L53)で参照。

(L55)

Lorfting, I. and Julinda Abu Nasr 1980

"Lebanese women, head of households." In Institute for Women's Studies in the Arab World, *Women and work in Lebanon* (Monographs of the Institute for Women's Studies in

the Arab World ; 1). Beirut : IWSAW, pp. 63-84.

所蔵 アジ研図(MELE/331.4/W1)

(L54)と同文献に収録された論文。南部の27人の女性を調査対象として、戦争未亡人の労働に対する態度、労働における問題やニーズについて調査することを目的に、1978～79年に行われた調査結果をまとめたもの。戦争未亡人や障害者となった夫をかかえる女性の年齢や労働経験、家族環境、好まれる職業などについて調べている。

※(L53)で参照。

(L56)

Richards, Evelyn 1980

"The employment status of women in Lebanon." In Institute for Women's Studies in the Arab World, *Women and work in Lebanon* (Monographs of the Institute for Women's Studies in the Arab World ; 1). Beirut : IWSAW, pp. 12-[37].

所蔵 アジ研図(MELE/331.4/W1)

(L54)と同文献に収録された論文。学生へのより適切な職業相談を行うために職業に関する情報が必要だとして、1979年に大ベイルート地域の240団体で行われた調査の結果。職業別、配偶関係別のデータが提示され、1972年の労働統計の結果と比べながら、女性の雇用の今後の傾向について分析している。

※(L39)、(L42)、(L53)、(L69)で参照。

(L57)

Samaha, Nadia and Elham Chaarani and Hind Beydoun 2001

Ces femmes qui travaillent.

Beyrouth : Bahithat, 125 p.

所蔵 アジ研図(MELE/331.4/W1)

特に専門職の女性の労働に焦点を当てた資料。第1部は世界全体の女性の労働参加に関する傾向について述べた後、レバノン女性の労働参加について、1994～96年に社会問題省とUNFPAによって行われた調査結果を用いて分析している。第2部は、様々な宗派に属するペイルート在住の既婚女性(30～45歳、子供有、専門職に就き5年以上働いている)を対象に調査を行い、第1章ではセクシャルハラメント、第2章では家庭内の関係性について分析している。最終的な回答数は57と少ないが、回答内容も一部掲載されている。

(L58)

Saxena, Prem C. and Habbouba Y. Aoun 1997

"Women's education, economic activity and fertility : relationship re-examined : a study based on a Lebanese community." *al-Abḥāth : the quarterly journal of the American University of Beirut* (45), pp. 25-39.

所蔵 アジ研図(PAr/05/Ab1001)

女性の教育と労働が、出産行動にどのように影響しているのか、また働いているレバノン女性に母親役割と労働がどの程度両立し得ないものとして経験されているのか、加えてそれが出産行動にどのよう

に影響しているかを、検証するもの。私立学校で働く既婚の女性教員と、男性教員の働いていない妻約200人を対象に、インタビュー形式で収集したデータを分析している。

(L59)

Yarak, Fady and Badra Alawa 2001

La participation économique des femmes au Liban. Brussels : Rene Moawad Foundation, 29 leaves.

所蔵 アジ研図

第1章でレバノン女性の労働環境と1998年のCASの統計データを用いた労働参加の状況の概要を説明し、第2章では小規模事業、第3章では職種、第4章では教育と、女性労働との関係について述べ、今後の戦略について提言している。

(L60)

الأمم المتحدة. اللجنة الاقتصادية والاجتماعية لغربي آسيا [1989]

نور المرأة في القطاع الهامشي : دراسة ميدانية عن لبنان (سلسلة دراسات عن المرأة العربية في التنمية ; 16). [بغداد] : الأمم المتحدة, اللجنة الاقتصادية والاجتماعية لغربي آسيا, 89 ص.

所蔵 アジ研図(Ar/396/D1002)

第1章で”周縁部門”とは何か、また周縁部門における女性労働調査における問題点など、理論的枠組みについて述べ、第2章でレバノン各地から200家族を対象にフィールド調査を行い、周縁部門で働く女性労働者の社会経済的な特徴、労働条件、仕事を選んだ理由や動機、女性労働者が直面する問題、戦

争の影響について分析している。第3章では、周縁部門の女性労働者の労働環境の改善を支援するために必要な施策について考察している。

※(L63)で参照。

(L61)

تقي الدين, ادبل حمدان 2004

المرأة في مجتمع الموحدين الدروز بين الأمس واليوم. بيروت: الفرات, 328 ص.

所蔵 アジ研図(Ar/396.1/M1032)

前半ではドルーズ女性のおかれた社会的経済的文化的環境について歴史的变化を含めて説明し、後半は各分野で活躍した著名な女性の伝記となっている。前半に含まれている「経済的環境と女性の参加の程度」(pp.28-33)では、農村女性であるドルーズ女性がいかに男性とともに農業や様々な手仕事に従事し、家計に貢献してきたかが主張されている。また「家庭外での女性の賃金労働」(pp.135-139)では、かつては恥ずかしいこととされた家庭外での女性の賃金労働に対する人々の視線の変化が語られている。

(L62)

حمدان, كمال 2000

"عمل المرأة في لبنان ومساحة التمييز بينها وبين الرجل." إعداد وتحرير نجلاء حماده وجين سعيد المقنسي وسعد جوزف, المواطنة في لبنان بين الرجل والمرأة. بيروت: دار الجديد, ص. 113-131.

所蔵 アジ研図(Ar/396/M1022)

レバノン女性の労働参加の推移、およびその限界、

賃金や労働条件における男女差別などについて概観している。

(L63)

خلف, منى شمالي 1998

المرأة العربية والعمل: الواقع والآفاق: دراسة حالة لبنان. [تونس]: مركز المرأة العربية للتدريب والبحوث, 152 ص.

所蔵 アジ研図(Ar/331.4/M1008)

CAWTAR が1995~96年に、レバノン、アラブ首長国連邦、スーダンで行った女性労働に関する一連の調査のレバノン編。(A17)が同調査の概要版となっている。第1章でレバノン社会について概観し、第2章で女性労働者の全体的特徴、産業ごとの女性の労働参加と女性労働者の特徴について分析し、女性の労働参加に影響すると考えられる教育や法制度、国家の政策などについて考察している。第3章では、特にアパレル産業の10企業250人の女性労働者をサンプルとして、女性労働者の特徴や労働状況について詳しく調べている。

※(L8)で参照。

(L64)

الديس, ماري ناصيف 2003

المرأة اللبنانية العاملة والموظفة: الواقع والنور في القرار النقابي: دراسة ميدانية. بيروت: مركز حقوق المرأة للدراسات والأبحاث, 147 ص.

所蔵 アジ研図(Ar/331.4/M1007)

大ベイルート地域の49民間企業と60公営企業を通して594の質問票を配布し、データを収集している。レバノンにおける女性労働を、1960年代から概

観した後、公共・民間部門それぞれの女性労働者の社会経済的な特徴、賃金や社会保険加入などの状況を分析するとともに、組合活動への女性労働者の参加状況や参加の障害についても分析している。

(L65)

شعراني, أمان كيارة 1991
أوضاع وقضايا المرأة : دراسة ميدانية نفسية
اجتماعية. طرابلس : منشورات صالون فضيلة
قتل الايدي, 316 ص.

所蔵 アジ研図(Ar/396.1/A1016)

1986年にタルトゥース市で500名の女性を対象に行われた調査結果。女性の役割や現状に対する女性の見解、特に教育と労働に関する現状のニーズ、社会における女性の役割を明らかにすることを目的としている。割かれているページ数は少ないが、女性に労働を禁じる要素や、女性が労働から得る満足、女性が就く職業、女性の経済的独立などについても考察している。

(L66)

صليغ, روز ماري 2000
"أنتى ولاجنة : عاملة الفلسطينية في لبنان. " إعداد
وتحرير نجلاء حماده وحسين سعيد المقدسي وسعاد
جوزف, المواطنة في لبنان بين الرجل والمرأة.
بيروت : دار الجديد, ص. 157-133.

所蔵 アジ研図(Ar/396/M1022)

英語でも多くの著作を出しているローズマリー・サーイグの著作。レバノンにおけるパレスチナ難民女性の労働の分析を通して、公的・私的領域の変容と相互浸透性について考察している。データは主に

「レバノンにおけるパレスチナ労働力 (The Palestinian labour force in Lebanon)」(TEAM International, January 1983)を利用している。

(L67)

عبد الجواد, إنعام 2005
"الأوضاع الراهنة لعمل المرأة الريفية. " المجلة
الاجتماعية القومية (2)42, ص. 1-31.

所蔵 アジ研図(PAr/3/Na1)

農村における女性の就労状況の概況、女性の労働参加を決定する構造的要素として、賃金労働とアンペイドワークの状況、文化的要素や法的枠組みについて考察している。

(L68)

عسيران, توفيق 1981
"عمل المرأة في ظل التنظيم الأسرة. " مجموعة
محاضرات النورة التدريبية المتقدمة حول القضايا
الاجتماعية للمرأة العاملة اللبنانية. بغداد : مكتب
العمل العربي, المعهد العربي للثقافة العمالية وبحوث
العمل, ص. 91-108.

所蔵 ヨルダン大図;LAU 図

1981年にベイルートで開催されたトレーニングコースの講義録に収録されている論文の一つ。著者はレバノン家族計画協会(Lebanon Family Planning Association (LFPA), جمعية تنظيم الأسرة في لبنان)の事務総長。既婚女性の学歴、性教育、家庭内の意思決定者、妊娠回数、欲しい子供の数などに関するデータを提供している。

(L69)

قباتجي, جاك وأسعد الأتات 1997

المرأة العاملة في لبنان : نتائج ميدانية وتحليلية.

بيروت : شركة المطبوعات للتوزيع والنشر :

التجمع النسائي الديمقراطي اللبناني, 450 ص.

所蔵 アジ研図(Ar/331.4/M1006)。

1990~91年に1,956人の女性労働者を対象に質問票を用いて調査を行い、女性労働者の社会的背景、女性労働に対する戦争の影響、女性労働者が働く組織、分野、労働条件、宗教的方向性などについて分析している。

※(L21)、(L36)で参照。

(L70)

كيوان, فاديا 1994

دراسة حول عمل النساء في الهيئات الاهلية.

بيروت : مؤسسة فريدريش ايبيرت : المجلس

النسائي اللبناني, 63 ص.

所蔵 NCLW 図

NGOで働く女性に関するサンプル調査。レバノンの女性 NGO の性格と、特に社会ボランティア活動に参加する女性の特徴について分析している。

(L71)

مؤسسة فريدريش ايبيرت واللجنة الأهلية اللبنانية للتحضير

لمؤتمر بيجين, المؤتمر العالمي الرابع للمرأة 1995

وقائع الحلقات الدراسية والندوات التي عقدت في

اطار التحضير لمؤتمر بيجين, 1994-1995.

بيروت : اللجنة الأهلية اللبنانية للتحضير لمؤتمر

بيجين : مؤسسة فريدريش ايبيرت, 288 ص.

所蔵 アジ研図(Ar/396.1/W1004)

フリードリヒ・エーベルト財団の協力の下、第4回世界女性会議に向けてNCLWの呼びかけで結成された「NGO 委員会(الاجنة الاهلية)」が開催した会議の抄録。「女性と労働」をテーマに1995年2月にサイダーで開催された会議も収録されている。その中には、モナー・ハラフ(منى خلف)のペーパーと、それに対するサーディル・ユونس(صاندر يونس)、レバノン大学社会科学研究所と、ユースフ・ジバーイー(يوسف جباعي)のコメントが掲載されている。

(L72)

مطر, ليندا 1981

"النظام التعليمي ودوره في تحديد الطبيعة ومدى

مساهمة المرأة العاملة في النشاط الاقتصادي."

مكتب العمل العربي, مجموعة محاضرات النورة

التدريبية المتقدمة حول القضايا الاجتماعية للمرأة

العاملة اللبنانية. بغداد : مكتب العمل العربي, المعهد

العربي للثقافة العمالية وبحوث العمل, ص.

.89-81

所蔵 ヨルダン大図;LAU 図

(L68)と同文献に収録されている論文。レバノンの教育制度、特に職業教育、また女性が生産活動に従事することに対する社会の見解について考察している。

(L73)

معهد الدراسات النسائية في العالم العربي 1980

المرأة والعمل في لبنان. بيروت : معهد الدراسات

النسائية في العالم العربي, 71 ص.

所蔵 アサド図;LWDG

タイトルから (L54) ~ (L56) を収録する文献 *Women and work in Lebanon* のアラビア語版かと思われるが、現物未確認。この文献に収録されているアドナーン・ムルワ (Adnan Mureoh) の論文「レバノンにおける家族計画と働く女性 (تنظيم الأسر والمرأة) (العاملة في لبنان)」や、アブド・アルサラーム・シュアイブ (Abd al-Salam Shu'ayb) の論文「レバノン法における女性労働者 (القانون اللبناني في المرأة العاملة)」は、上記の英語版には収録されていないので、内容が異なることが予想される。

※(L36)で参照。

(L74)

منصور, إلهام 1981

"الانعكاسات الاقتصادية والاجتماعية للحرب في لبنان وأثرها على المرأة اللبنانية." مكتب العمل العربي, مجموعة محاضرات النورة التدريبية المتقدمة حول القضايا الاجتماعية للمرأة العاملة اللبنانية. بغداد: مكتب العمل العربي, المعهد العربي للثقافة العمالية وبحوث العمل, ص. 123-135.

所蔵: ヨルダン大図; LAU 図

(L68)と同文献に収録されている論文。著者はレバノン大学の教官。統計データから低中所得層の女性の労働参加の増大や、離婚の増加、若い世代の女性の性的解放という現象が起きていることを指摘し、その影響について分析している。

IV-5. 法律関係資料

(1) ウェブサイト

レバノン議会 (مجلس النواب) のウェブサイト (<http://www.lp.gov.lb/>) では、憲法の原文、および2000年以降に発効した法律の原文が掲載されており、PDFでダウンロードできる(アラビア語のみ)。

労働省のアラビア語ウェブサイト (<http://www.labor.gov.lb/>) では、労働法の原文や関連する命令や決定などを閲覧することができるが、英語とフランス語のウェブサイトには類似の情報の掲載はない。社会問題省 (Ministry of Social Affairs, وزارة الشؤون الاجتماعية) のウェブサイト (<http://www.socialaffairs.gov.lb/>) には新しい法律が数点掲載されているだけで情報量は少ない(アラビア語のみ)。

社会保険国家基金 (الصندوق الوطني للضمان الاجتماعي) のウェブサイト (<http://cnss.gov.lb/>) には社会保険法の原文が掲載されている(アラビア語のみ)。

また民間の出版社だが、Sader publishers のウェブサイト (<http://www.saderpublishers.com>) では、2005年以降のレバノン官報が掲載されている。各官報の目次からPDF化された官報の原文までリンクで辿ることができると同時に、主題や法令の種類、日付などによる検索も可能で、非常に有用である(アラビア語のみ)。

事業におけるレバノン女性連盟 (Lebanese League for Women in Business) のウェブサイトでは、商法 (Code of commerce, Decree-Law no. 304, Dated 24 December 1942. 改正された内容を含む) の英訳を掲載している (<http://www.llwb.org/laws.shtml>)。ただしどの時点までの改正が反映されているのかが不明で、またウェブサイトの著作権が2008年となっているので、近年は更新されていない可能性が高い。

労働者の権利のレバノン監視団 (المرصد اللبناني

لحقوق العمال والموظفين) (<http://lebaneselw.com>) は、レバノン組合トレーニング・センター (المركز اللبناني للتدريب والتطوير) と調査・開発フィールド協会 (جمعية الميدان للبحوث والتنمية) が、フリードリヒ・エーベルト財団の協力によって、独立した民主的労働組合の情報サイトとして運営するウェブサイト。労働者の権利に関する情報提供や労働分野における権利の監視、労働関連法令の調査、改正要求の提出などを目的としている。ILOの協定や勧告をはじめとする国際協定や、それら協定のレバノン政府の批准状況一覧、レバノン労働者総同盟 (الاتحاد العمالي العام في لبنان) の加盟労働組合一覧や内部規定の原文、労働法、社会保険法、公務員に関する関連法令、およびその改正法案、集団労働契約法などの原文が掲載されている(アラビア語のみ)。

(2) 英語資料

アメリカ国際ビジネス出版 (USA International Business Publications) の最新のものは、レバノン企業の専門家チームが執筆している *Business laws of Lebanon* (L75) がある。内容は毎年改訂され、現在2010/2011版が最新である。女性労働に関する法律について英語で概要を知ることができる資料としては (L81) をあげることができる。

古い法律については、レバノン・アラブ・ドキュメンテーション事務所 (Bureau des documentations libanaises et arabes) が (L78) をはじめ、商法や外国人や住宅に関連する法令のフランス語訳を出版している。

(3) アラビア語資料

レバノンの法律関係資料を多数出版しているのは、ウェブサイトの項でも紹介した Sader publishers²で

² この出版社は、ドバイにも事務所

ある。Sader が出版した (L92) は最も包括的なレバノンの法令集といえる。法律の仏訳資料や英語資料も出しているが、アラビア語資料が最も充実しており、主題ごとの法律シリーズや判例集なども出版している。官報の索引も冊子体で発行している。他にはザイン (Zain) 書店が、法律資料を出版しており、(L94) や (L95) では、改正の履歴などの解説も付されている。

労働における女性の権利の観点からは、NCLW を始めとする女性団体の出版物があげられる (L86、L87)。また女性の権利獲得のために活動したパイオニア的レバノン人女性ロール・ムガイザル (لور مغيزل) の著作には、女性に関する法律についての文献が多数ある。

<文献解題>

レバノンに関する法律関係資料として第1章 I-5. 法律関係資料に収録した (A21) ~ (A22)、(A24) ~ (A31) も参照のこと。

(L75)

Alem & Associates c2009

Business laws of Lebanon : 2009-2010
ed. Eagan, MN : West, xxviii, 371
p.

所蔵: ジェトロ BL ; 国内大学図書館所蔵あり (NACSIS Webcat で検索可能)

レバノンでビジネスを行う人のために書かれた法律解説書。法律の原文は掲載されていない。レバノ

(www.saderlegal.com) があり、レバノンとアラブ首長国連邦の法律関係資料を出版している。日本からの購入も可能である。

ンにおける企業、金融市場や知的財産権、外国投資に関する解説に加えて、不動産法や環境法についても解説している。第8章で雇用契約、賃金や休業、母性保護などについて説明している。

(L76)

Alem, Mohamed Y. (compilation and translation) ; country editor, Nady Tyan
2001

Business laws of the Middle East : Lebanon. Hague : Kluwer Law International, vi, 396 p.

所蔵: 国内大学図書館所蔵あり (NACSIS Webcat で検索可能)

義務および契約法 (قانون العقود والموجبات) および法律 34 号商法の英訳が掲載されており、法制度および上記の法律の概要について解説している。この中には労働契約に関する条項も含まれている。

(L77)

El-Cheikh, Nadia M. c2000

"The 1998 proposed civil marriage law in Lebanon : the reaction of the Muslim communities." In Eugene Cotran general ed., *Yearbook of Islamic and Middle Eastern law*, v.5
2000. London : Kluwer Law International, pp.147-161.

所蔵: 国内大学図書館所蔵あり (NACSIS Webcat で検索可能)

レバノンでは、婚姻や親子関係は 18 の宗派コミュ

ニティごとに定められた法律に従っているが、1998年に宗教的な枠組みを超えた統一的な市民婚姻法草案が提出された。この市民婚姻法の内容について検証するとともに、各宗派コミュニティの反応について分析している。

(L78)

Fadel, Me Maroun KH. (traduction française publiée sous la direction technique) ; English translation under the supervision of S.E.A. Hakim 1963

Loi sur la securite sociale = Social security law

قانون الضمان الاجتماعي =

Beyrouth : Bureau des documentations libanaises et arabes, 31, 36, 33 p.

所蔵 アジ研図(MELE/36/L1)

1963年のレバノンの社会保険法のアラビア語オリジナルと、英訳、仏訳が1冊にまとめられている。

(L79)

Hakim, S. E. A. (translated by) [1964]

Lebanese income tax law. Beyrouth : Bureau des documentations libanaises et arabes, 28 p.

所蔵 アジ研図(MELE/336.21/L1)

1959年6月12日法律144号所得税法の英訳。

(L80)

Lampman, Robert J. 1954

"The Lebanese labor code of 1946."
Labor law journal July 1954, pp. 491-503.

所蔵 国内大学図書館所蔵あり(NACSIS Webcatで検索可能)

レバノン独立後最初の労働法である1946年労働法の概要とその特徴、労働法が制定された経緯、また法がもたらした影響について述べている。

※(L36)で参照。

(L81)

Lebanese American University. Institute for Women's Studies in the Arab World 2005/2006

"The status of women in Lebanese legislation." (特集タイトル) *al-Raida* 111/112.

所蔵 アジ研図(P/396.1/R1001)

レバノンの女性差別撤廃条約(CEDAW)に対する留保、国籍法、婚姻と遺産相続、女性に対する暴力、女性議席割当制度などを取り上げて、レバノン女性の法的地位について考察している。労働関係の論考では、アルレーテ・ジュライサティ(Arlete Juraysati)の"Eligibility of working married Labanese women for social benefits" (pp.48-53)、イクバル・ムラード・ドゥーガン(Iqbal Murad Doughan)の"Working women in Lebanon"(pp. 54-55)が掲載されている。前者は家族手当や社会保険の権利における既婚女性に対する差別的な扱いを取り上げている。後者は、レバノン女性労働者連盟

(Working Women League in Lebanon)の会長による著作で、労働法の改正について要求している。

1959年6月23日非ムスリム相続法のフランス語訳。

(L82)

[Republic of Lebanon] c2006

The social security (Lebanon) amendment regulations 2006.
London : Stationery Office, 4 p.

所蔵 アジ研図(MELE/36/S1)

2006年6月に出された社会保険関連法令の実施に関する規則。

(L85)

U.S. Bureau of Labor Statistics 1966

Labor law and practice in Lebanon
(BLS report no. 304). [Washington, D.C.] : U.S. Bureau of Labor Statistics, 98 p.

所蔵 アジ研図(/331/Un10)

アメリカの労働統計局が、海外でアメリカ企業などが現地職員を雇用する際に役立つ資料として作成したシリーズの一つ。レバノンの労働関連法令や労働環境、経済状況や社会や文化などについても解説している。

(L83)

[République libanaise] [1965]

Constitution libanaise. Beyrouth :
Bureau des documentations libanaises
et arabes, 13 leaves.

所蔵 アジ研図(MELE/342.4/C1)

レバノン憲法のフランス語訳。1947年1月21日までの改正が反映されている。

(L86)

حمدان, غادة [د.ت.]

المرأة والقانون في الجمهورية اللبنانية. [د.م. :
د.ن.], [45] ص.

所蔵 : NCLW ウェブサイト
(<http://www.nclw.org.lb/resourcesmid.cfm>)

女性に関する法的枠組み、法における女性差別とその撤廃について解説している。

(L84)

Safa, M. Elie (traduction française publiée
sous la direction technique) [1964]

Loi sur les successions des non-mahométans. Beyrouth :
Bureau des documentations libanaises
et arabes, 19 leaves.

所蔵 アジ研図(MELE/347.65/L1)

(L87)

دوغان, عبد الرزاق 2000

المرأة العاملة في لبنان قضايا وحلول. لبنان : رابطة
المرأة العاملة في لبنان, 133 ص.

所蔵: JNCW 図; NCLW 図

レバノンの女性労働者の状況について、特に法的側面から考察したものの。労働法、社会保険法、被雇用者法、教育委員会関係者の規定などについて解説したのち、法律の適用状況や現実と法律の乖離について考察し、また関連する訴訟の結果についても述べている。

(L88)

الدويري, وفيقة منصور [2002]

"حقوق المرأة". اعداد جمعية تنظيم الاسرة في لبنان باشراف الرئيس توفيق عسيران, المرأة في مواجهة مسؤوليها الاسرية والمجتمعية: دليل مراكز نشاطات المرأة. [بيروت]: جمعية تنظيم الأسرة في لبنان, ص. 187-200.

所蔵: アジ研図(Ar/396.1/M1057)

レバノン家族計画協会 (Lebanon Family Planning Association (LFPA))が、イタリア外務省からの資金援助の下で 2000 年に実施したプロジェクト「農村女性の能力の開発と発展」で作成された女性団体向けのガイドブックに収録された論文。ガイドブックとはいっても実践的なものではなく、女性の権利や保健、子供に関する講義を集めたものとなっている。この論文では各分野における女性の権利について解説しており、労働関係の法律についても言及している。

(L89)

شوفاني, ناجي م. 2005

قانون الضمان الاجتماعي مع القوانين والمراسيم المتممة له: قانون العمل, قانون طوارئ العمل.

الطبعة 3. بيروت: ناجي م. شوفاني, 240 ص.

所蔵: アジ研図(Ar/36/Q1005)

社会保険法および関連法令、労働法の原文が、改正の履歴などの解説を含めて掲載されている。巻末に社会保険および労働法の用語集(フランス語・アラビア語)が記載されているのが便利。

(L90)

صادر

صادر بين التشريع والاجتهاد: الضمان الاجتماعي. بيروت: صادر, 1 ج.

所蔵: アジ研図

社会保険関係の法令を集めた加除式資料。アジ研図書館で所蔵しているものは 2007 年 5 月時点の内容。社会保険法の他に、社会保険国家基金、健康および母性保険、家族および教育手当、退職金などに関する法令が掲載されている。

(L91)

صادر. مركز الابحاث والاستشارات القانونية; اشراف انطوان بريدي 2005

حق إداري, قانون أصول المحاكمات, قانون تجاري, قانون عقاري, قانون الموجبات والعقود, قانون العمل والضمان الاجتماعي, قانون المحلات الخطرة والمضرة بالصحة والمزعة, تشريعات مصرفية, طوائف بنينية (صادر في الاستشارات القانونية). بيروت: صادر, 520, 20 ص.

所蔵: アジ研図(Ar/34/S1002)

様々な法律に関する法律専門家の意見 (رأي) を集めたシリーズの中のの一つ。労働関係では

労働法および社会保険法が含まれている。また退職金および雇用契約に関して出された意見が収録されている。

(L92)

[صادر, جوزف ادیب (نشرة وإشراف على إخراجها)]
2001-

قوانين لبنان : مجموعة النصوص التشريعية
والتنظيمية. [بيروت] : دار المنشورات الحقوقية.
24 v. in 32 (loose-leaf).

所蔵 アジ研図(Ar/34/Q1009)

レバノンの法律を網羅的に収録した法令集。古いものではオスマン帝国時代に遡る。省庁ごとに関連する法律、省令などが収録されている。加除式資料で、2008年1月1日までの改正が反映された法令の原文が掲載されている。

(L93)

الصلح, زينب مروة 2006

"حقوق المرأة في التشريعات الوطنية في لبنان."
إشراف علي شنيوي الزغل وخلف سليمان الطعاني
وعبد الباسط عبد الله عثمانه, بحوث وأوراق عمل
النوة الإقليمية : المرأة والهجرة وحقوق الإنسان.
اربد : جامعة اليرموك, ص. 521-530.

所蔵 GFJW 図;ZENID 図

(J22)と同文献に掲載された論文。この論文では、特に名誉の殺人や家族法における差別について取り上げているが、労働法や社会保障についても言及している。

(L94)

عجروش, أسامة اسماعيل (إعداد وإشراف) 2007

قانون الضمان الاجتماعي اللبناني. بيروت : مكتبة
زين الحقوقية, 132 ص.

所蔵 アジ研図

2002年12月31日まで(タイトルページでは2003年12月31日までとなっているが、本文 p.17 では2002年となっている)の改正を反映した社会保険法の原文。改正の履歴などが各条項の註で解説されている。

(L95)

عجروش, أسامة اسماعيل (إعداد وإشراف) 2007

قانون العمل اللبناني والقوانين والمراسيم الأساسية.
بيروت : مكتبة زين الحقوقية, 146 ص.

所蔵 アジ研図

労働法の原文および関連する命令や決定の原文を掲載している。なおこの労働法にはこれまでの改正が反映されており、各条項の註で改正の履歴などが解説されている。

(L96)

الغريب, وليم ; قدم له شكيب قرطبوي [-2001]

صادر بين التشريع والاجتهاد : العمل. بيروت :
صادر, 1 ج.

所蔵 アジ研図(Ar/331/S1003)

労働関係の法令を集めた加除式資料。アジ研図書館で所蔵しているのは2007年5月時点の内容。各条項には、関連する国際協定、イジュティハード(専門家による法解釈)、改正前の原文を含めた解説

がつけられている。

(L100)で参照。

(L97)

1981 年, مغيزل, لور

"الأحكام المتعلقة بالمرأة في تشريعات العمل اللبنانية." مجموعة محاضرات الدورة التدريبية المتقدمة حول القضايا الاجتماعية للمرأة العاملة اللبنانية. بغداد : مكتب العمل العربي, المعهد العربي للثقافة العمالية وبحوث العمل, ص. 55-80.

所蔵: ヨルダン大図; LAU 図

(L68)と同文献に収録されている論文。女性の労働に関する国際協定を概観した後、レバノンの法律における賃金、家族手当、退職金、女性保護と母性保護について取り上げて解説し、評価と提言を行っている。

(L98)

1985 年, مغيزل, لور

المرأة في التشريع اللبناني في ضوء الاتفاقيات الدولية مع مقارنة بالتشريعات العربية. بيروت : معهد الدراسات النسائية في العالم العربي, 387 ص.

所蔵: アジ研図(Ar/396/Ma5)

レバノン女性の政治的権利、法的能力、経済的社会的権利、および刑法において女性が関係する項目について、アラブ諸国や世界各国の法律との比較をまじえながら解説しており、また女性差別撤廃条約(CEDAW)など関連協定も掲載している。賃金や家族手当、母性保護など女性労働関連については「経済的社会的権利」(pp.129-180)の章で解説されている。

※(A28)、(L23)、(L51)、(L69)、(L99)～

(L99)

1995 年, مغيزل, لور

"المرأة بين الواقع والقانون." تحرير دلال البزري وفاطمة الزهراء أزرويل, المرأة العربية بين الواقع والتصوير. القاهرة : نور-دار المرأة العربية للنشر, ص. 60-72.

所蔵: GUW

1992年にモロッコで開催された会議の会議録。レバノン女性の法的状況と、レバノンの法制度およびその変更の可能性について、述べている。この論文に基づくムガイザルと、モロッコの女性と法律に関するもう一人の研究者の講演の後に議論がなされ、それについてもこの資料に収録されている(pp.182-192)。

(L100)

2000 年, مغيزل, لور ; الطبعة الثانية اعداد فادي مغيزل

حقوق المرأة الإنسان في لبنان في ضوء إتفاقيات القضاء على جميع أشكال التمييز ضد المرأة. الطبعة الثانية. [بيروت] : اللجنة الوطنية لشؤون المرأة : مؤسسة جوزف ولور مغيزل, 190 ص.

所蔵: アジ研図(Ar/396.1/H1003)

アラブ各国の女性差別撤廃条約(CEDAW)の実施状況を概観し、レバノンの法律(政治的権利、相続、移動の自由、国籍、避妊に対する刑罰の廃止、夫の許可なく女性が商業活動を行う能力の認知など)について解説している。

(L101)

مغيزل, لور 2001

حقوقك في العمل. بيروت : الجمعية اللبنانية لحقوق
الانسان, 102 ص.

所蔵 NCLW 図

労働における女性の権利を解説している。第1版は1994年に出され、2001年に出された第2版は2001年11月31年現在有効な法律に基づいている。

※(L100)は第1版を参照。

(L102)

منظمة العفو الدولية 1999

ندوة حقوق المرأة تحت شعار : "نحو جعل حقوق
المرأة واقعا معاشا : حالة لبنان"

=Seminar on : "Towards making
women's rights a reality : the case of
Lebanon".

لندن : منظمة العفو الدولية, 14, [4] ص.

所蔵 NCLW 図

1999年11月にベイルートで開かれたセミナーの会議録。名誉の殺人、市民婚、労働法と女性、女性囚人が議題として取り上げられている。労働法と女性では、労働法や社会保険法における女性の権利が分析され、将来の発展に向けて提言がなされている。

IV-6. 女性団体関係資料

(1) 複数の女性団体を紹介している文献

(L5) : 女性差別撤廃条約 (CEDAW) に関する "Active bodies in the governmental and non-governmental sectors" の項があり、NCLW をはじめ7女性団体の紹介と省庁の動きなどが紹介されている。

(L6) : "Bodies working in the official and non-governmental sectors" の項で、女性差別撤廃委員会 (CEDAW) 関連の公的団体として NCLW の他に、女性と子供に関する議会委員会 (Parliamentary Committee on Women and Children)、社会問題省女性局 (Office of Women's Affairs at the Ministry of Social Affairs)、経済社会会議 (Economic and Social Council) が紹介されている。NGO としては、本項で紹介する団体の他に、レバノン女性ネットワーク (Lebanese Women's Network) や、政党や労働組合に属する女性団体、文化活動を行う女性団体としてレバノン女性研究者協会 (Lebanese Association of Women Researchers) が紹介されている。

(L7) : 女性差別撤廃委員会 (CEDAW) への第 2 回報告書提出後に新たに設立された女性団体 (団体の中のユニットを含む) を紹介している。

(L103)

Bray-Collins, Elinor 2003

Muted voices : women's rights, NGOs, and the gendered politics of the elite in post-war Lebanon. Thesis for the degree of Master of Arts, University

Tronto, 149 p.

所蔵: CTRD.A 図

レバノンの女性NGOを通してレバノンにおける女性問題の扱われ方を考察する論文。レバノンの女性団体の紹介やリストも付いている。また参考文献一覧にはレバノン女性に関する文献が多数掲載されている。

(L104)

1995 دلالي, البزري

"المجتمع المدني - الجمعيات النسائية اللبنانية." تحرير
دلالي البزري وفاطمة الزهراء أرويل. *المرأة العربية
بين الواقع والتصور.* القاهرة: نور دار المرأة العربية
للنشر, ص. 148-156.

所蔵: GUW

(L99)と同文献に収録されている論文。レバノンの女性運動の現状を分析し、宗派的であること、および内戦による影響から抜け出すことの必要性について述べている。女性と市民社会に関する議論についても同資料に収録されている。

(2) 複数の女性団体を紹介しているウェブサイト

レバノンも含めたアラブ諸国の女性団体を紹介しているウェブサイトについては、第1章 I-6.女性団体関係資料を参照のこと。

UNDP, Lebanon の Our Partners / Non Governmental Organizations

(<http://www.undp.org.lb/partners/ngos/index.cfm>)

UNDPレバノン事務所と活動するNGOの連絡先

や概要が掲載されており、女性団体も含まれている。

(3) 個別の女性団体関係文献

各団体の詳細は、資料編 2: III.レバノンを参照のこと。

・IWSAW

(L105)

高橋理枝 2007

「レバノン・アメリカン大学アラブ世界女性研究所」『アジア経済』48(3) 73-78ページ。

所蔵 アジ研図(PJa/33/Aj11)

IWSAW の設立の経緯や活動内容に関する紹介。

(L106)

Abu Nasr, Julinda 1982

"Close up The Institute for Women's Studies in the Arab World." *Women's studies quarterly*, pp. 15-17.

所蔵 国内大学図書館所蔵あり(NACSIS Webcatで検索可能)

IWSAW の設立の経緯、活動目的、活動内容に関する紹介。元は 1980 年にパリで開かれた女性の調査と教育に関する会合でのレポート。著者は当時の IWSAW 所長。

※(L103)で参照。

・レバノン女性の権利連盟 (League for Lebanese Women's Rights)

(L107)

[198-] لجنة حقوق المرأة اللبنانية

محطات على طريق النضال من أجل المساواة والحرية والديمقراطية والسلام: لجنة حقوق المرأة اللبنانية 1947-1987. [بيروت]: لجنة حقوق المرأة اللبنانية, 159 ص.

所蔵 アジ研図(Ar/396.1/M1042)

1947 年に設立されたこの団体の 1947~87 年までの活動記録。

・レバノン女性民主会合 (Lebanese Women Democratic Gathering(LWDG))

(L108)

التجمع النسائي الديمقراطي اللبناني 1978

التجمع النسائي الديمقراطي اللبناني: وثائق المؤتمر التأسيسي, بيروت 1978. بيروت: التجمع النسائي الديمقراطي اللبناني, 71 ص.

所蔵 アジ研図(Ar/396.1/T1023)

この団体の設立に関するニュース記事などを集めて掲載したもの。

・レバノン家族計画協会 (Lebanon Family Planning Association(LFPA))

(L109)

جمعية تنظيم الأسرة في لبنان 1995

أنظمة وقوانين جمعية تنظيم الأسرة في لبنان. بيروت: جمعية تنظيم الأسرة في لبنان, 26 ص.

所蔵 アジ研図(Ar/061/A1002)

この団体の内部規則集。